

環境会計

エンゼルのように地球にやさしく！！

当社では環境会計を、環境に関する方針・目的・目標の達成度合いを判断する指標として、さらには、環境パフォーマンスの向上のためのツールとして有効に活用したいと考えています。

集計の考え方

- ・集計範囲は森永製菓株式会社5工場（一部本社を含む）としています。
- ・環境保全コスト及び効果の把握にあたっては、環境省「環境会計ガイドライン」も考慮し、把握、集計のための基準「環境会計集計要領」を作成し、これに基づいて集計をおこないました。
- ・環境保全コストには設備投資の減価償却費は含んでいません。
- ・研究開発コストの集計は今回実施していません。
- ・環境保全対策にともなう経済効果については、把握可能な効果のみを集計し、リスク回避効果等、推定によるみなし効果は含んでいません。

2006年度集計結果

集計範囲：森永製菓株式会社5工場、一部本社
環境保全コスト(単位：千円)

対象期間：2006年4月1日～2007年3月31日

分類		主な取り組みの内容	投資額	費用額
生産・サービス活動により事業エリア内に生じる環境負荷を抑制するためのコスト(事業エリア内コスト)			43,506	641,226
内訳	公害防止コスト	排水処理設備各装置更新 公害対策	19,587	312,247
	地球環境保全コスト	省エネ対策、コ・ジェネ運転費用	22,769	193,163
	資源循環コスト	廃プラスチック減容機等設置 廃棄物リサイクル費用	1,150	135,816
生産・サービス活動に伴って上流又は下流で生じる環境負荷を抑制するためのコスト(上下流コスト)		容器包装再商品化委託費用 容器包装関連団体負担金	0	258,830
管理活動における環境保全コスト(管理活動コスト)		蒸気・電力メーター取付 ISO14001 運用費用	70	48,304
社会活動における環境保全コスト(社会活動コスト)		工場周辺・構内清掃、環境報告書発行費用	290	59,055
環境損傷に対応するコスト(環境損傷コスト)		汚染負荷量賦課金	0	1,364
合計			43,866	1,008,779

環境効果

環境保全効果(対前年度削減量)		
環境負荷項目	総量(t)	原単位(t/t) ¹
CO ₂ 排出量	1,810	0.00
水使用量	99,050	0.69
廃棄物排出量	303	0.0005

環境保全対策に伴う経済効果(単位：千円)		
効果の内容	総額	原単位
廃棄物再資源化による有価物の売却益	6,586	
エネルギー費用対前年度削減額	59,337	1.32
廃棄物処理費用対前年度削減額	14,568	0.12
合計	38,183	

1 原単位とは製造重量あたりのCO₂ 排出量、水使用量、廃棄物排出量のことをいいます。

補足： は対前年度に比べて増加していることを表しています。増加・減少の主な原因は以下のとおりです。

- ・設備改善や効率的稼働の見直し等により、CO₂ 排出量の削減が図られました。エネルギー費用は価格高騰のため増加しました。
- ・廃プラスチック類等は増加していますが、動植物性残渣、紙屑が減少しました。
- ・リサイクル方法の見直しや、分別の徹底により有価物の推進を図り、廃棄物処理費用も削減しています。

今後も、増加原因となりうる要因につき充分検討をおこない、削減に向けた取り組みを推進します。